

令和 3 年 9 月  
(令和 4 年 9 月修正)

福津市まちづくり推進室

令和 2 年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金  
事業効果測定について (令和 2 年度中完了事業分)

令和 2 年度において、新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業を、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」(令和 2 年 4 月 20 日閣議決定)に掲げられた 4 つの柱(Ⅰ感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発、Ⅱ雇用の維持と事業の継続、Ⅲ次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復、Ⅳ強靱な経済構造の構築)又は「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」(令和 2 年 12 月 8 日閣議決定)を主題として捉え、実施しました。

本市には、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が令和 2 年度中に完了した事業に充当できる金額として 744,262,000 円が配分され、その全額をコロナ感染症対策事業の財源として活用しました。令和 2 年度のコロナ感染症対策事業数は 87 事業、事業費の合計は 745,332,992 円です。配分額との差額 1,070,992 円は本市の一般財源を充当しています。

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に掲げられた 4 つの柱ごとの事業数及び事業費については、別紙 1 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に掲げられた 4 つの柱に区分けされた事業について)及び各事業の詳細については、別紙 2 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業効果測定シート)に取りまとめています。

今後の新型コロナウイルス感染症対策事業については、感染拡大等の状況を注視しつつ、これまでの事業の効果等をふまえ、その時々状況に応じて有効と考えられる事業を展開していきます。